

JCI 中部支部 調査研究委員会 委員の募集について（〆切 6 月 17 日）

JCI 中部支部 会員の皆様

平素より JCI 中部支部の活動へご協力を賜り大変ありがとうございます。

令和 6 年度の JCI 中部支部調査研究委員会として「中部国際空港鉄道連絡橋 材齢 20 年における疑似橋脚の物性等の調査研究委員会（委員長：中村 光（名古屋大学）」を立ち上げることになりました。

中部国際空港鉄道連絡橋の工事では、低熱ポルトランドセメントと高炉セメントが使用されたコンクリートにより、竣工後も継続的に耐久性等を確認するために、本体と同じ仕様で疑似橋脚と高欄が設置されました。

この調査研究委員会では、本年秋に 20 年目（2 回目）の調査が実施されることとなっている中部国際空港鉄道連絡橋のコンクリートの性状について、中部国際空港連絡鉄道殿と名古屋鉄道殿で実施する調査に加えて、JCI 中部支部としてのさらに幅広い調査を実施することで協力と研鑽する場を設けようとするものです。

実際の調査分析だけでなく、試験検査の実施状況の見学や、報告書とりまとめ段階でのコメント参加等でも結構ですので、是非とも会員の皆様からの積極的なご参加を募ります。また、今後 10 年ごとの調査が予定されていることから、将来の検討も踏まえて若い方の参加を歓迎します。

委員会への参加をご希望の方は、JCI 中部支部事務局へのメールアドレス宛て（branchi_chubu@jci-net.or.jp）に、下記の項目を記入して 6 月 17 日までにご連絡ください。

メールのタイトルは「JCI 中部支部 中部国際空港鉄道連絡橋の調査研究委員会 参加希望」としてください。

■ご連絡いただきたい項目

- ・お名前（ふりがな）
- ・年齢
- ・ご所属（会社名・部署名）
- ・メールアドレス
- ・連絡先電話番号（携帯電話または勤務先電話）
- ・ご参加の理由（試験検査・分析の協力、実施状況の見学、報告書とりまとめ会議への参加等、ご自由に記述ください。）

以上、どうぞよろしく願いいたします。

調査研究委員会 副委員長
瀬古繁喜（愛知工業大学）
Mailto:seko@aitech.ac.jp